

## おおさきジャンボ 肉まつり in かごぼう

## 鳴子漆器展 全国こけし祭り



政宗公まつり



### 政宗公まつりの伊達武者行列に参加しませんか

■募集行列 ①騎馬武者隊②甲冑武者隊③ちびっこ政宗④愛姫⑤忍者隊（忍者の格好をして武者行列と一緒に進行、馬のフンなどを清掃）⑥鎧着付け助っ人隊（鎧の着付けの手伝い）

■募集人員・対象等 ①10人、18歳以上②35人、18歳以上③5人、市内の小学生④3人、着物を持っている小学生⑤3人、18歳以上⑥定員なし

■応募方法 住所、氏名、性別、年齢（③・④は学年）、電話番号と希望行列名を明記し、8月6日㈮まで政宗公まつり実行委員会事務局【岩出山総合支所産業建設課内（〒989-6492 岩出山字船場21】へはがきまたはファックス、Eメールで応募（応募多数の場合は抽選）

※自前の甲冑を着て参加する人も募集しています。

参加を希望する場合は申し込みが必要です。詳しくは、お問い合わせください。

問 政宗公まつり実行委員会事務局（岩出山総合支所産業建設課内） ☎ 72-1215 FAX 72-4004 Eメール i-sangyo@city.osaki.miyagi.jp

## 政宗公まつり

日時 9月11日㈯・12日㈰  
会場 岩出山中心商店街ほか  
※駐車場は、岩出山総合支所をご利用ください。12日は、岩出山総合支所から会場までシャトルバスを運行します。

また、8月中旬は、小学生以下の入館が無料です。

問 鳴子総合支所観光建設課 ☎ 82-2026

日時 9月11日㈯・12日㈰  
会場 岩出山中心商店街ほか  
※駐車場は、岩出山総合支所をご利用ください。12日は、岩出山総合支所から会場までシャトルバスを運行します。

18時30分～20時30分  
スポーツ少年団の演技、ふるさと音頭、よきこい踊りなど（あつたか河川公園）

18時30分～21時  
花火大会（あつたか河川公園）

12日 本まつり  
10時～15時 茶会（旧有備館及び庭園）  
10時～17時 伊達な市（竹工芸館ほか）  
13時10分～14時 おまつり小路（中心商店街）  
14時～16時 伊達武者行列（中心商店街）

問 政宗公まつり実行委員会事務局（岩出山総合支所産業建設課内） ☎ 72-1215

◆チケット 前売券2000円、当日券2500円（内容は、牛肉300g、豚肉200g、野菜300g）  
前売券は、田尻総合支所産業建設課、各総合支所産業建設課（鳴子総合支所は観光建設課）、農林振興課、JAみどりの田尻地域各支店などで販売しています。  
※雨天時は、加護坊山第2駐車場で肉の引き換えを行います。また、加護坊四季彩館でイベントなどを開催します。

問 田尻畜産まつり実行委員会事務局（田尻総合支所産業建設課内） ☎ 82-1115

9時～4時に行われる①と②  
※9月4日・5日は、日本こけし館の入館が無料です。  
お祭り広場（ゆめぐり広場）出店、よきこい踊り、太鼓演奏、神輿など

18時30分～ フェスティバルパレード（車湯～鳴子温泉駅前）

19時10分～ お祭り広場（ゆめぐり広場）出店、よきこい踊り、太鼓演奏、神輿など

問 田尻畜産まつり実行委員会事務局（田尻総合支所産業建設課内） ☎ 82-1115

日時 9月5日㈰  
会場 加護坊山・山頂東側キャンプ場

日時 9月3日㈮～5日㈰  
会場 鳴子小学校体育館・鳴子温泉街ほか

問 田尻畜産まつり実行委員会事務局（田尻総合支所産業建設課内） ☎ 82-1115



全国こけし祭り・鳴子漆器展

◆内容 地場産のおいしいお肉を味わいながら、ゲストショーやお楽しみ抽選会などのイベントステージが楽しめます。

日時 9時～14時  
会場 鳴子温泉街ほか

問 田尻畜産まつり実行委員会事務局（田尻総合支所産業建設課内） ☎ 82-1115



ふるさと志向、食の安全志向も相まって七日間で延べ二万人が来店し、物産、観光交流を深めることができました。農政が不透明な中でアグリビジネス、グリーンツーリズムが元気です。農商工連携、農業・農村の六次産業化は、地域農業活性化の有力な手段として期待が高まっています。

大崎市長 伊藤康志

日本の農業総産出額は八兆五千億円、農業就業者三百万人。それに対して農業・食料関連産業の国内生産額は九十八兆円、就業者数八百万人と膨れ上がります。本市の農業産出額二百四十二億八千万円。農産物直売所二十三施設、売り上げ七億一千万円。農家レストラン五施設、売り上げ二億六千万円。農業者地域が農産加工、販売に取り組む発展性は極めて大きい。六次産業化の法案化も進められています。

この夏「大崎地域の未来産業と農商工連携フォーラム」が開催され、農商工連携の推進や農業の六次産業化に向けた「アグリビジネス講座」がスタートしました。農業が食の総合産業化をめざし、農村が地域資源をまるごと活用して地域振興策を目指していく農業・農村創造元年にしてまいりました。